

令和5年5月24日

佐世保工業会
会長 阿比留 宏 様

佐世保市長 宮島 大典



長崎県県北振興局長 村山 弘司



佐世保公共職業安定所長 林田 裕之



若者に魅力ある求人の確保への対応について

貴団体をはじめ会員企業の皆様には、日頃より長崎県政及び厚生労働行政の推進に格段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年3月卒業のハローワーク佐世保管内の高校生の就職内定率は98.8%と前年度に引き続き高い水準を維持しており、この間の皆様方のご協力に感謝申し上げます。

高校生の県内就職内定率については、53.1%と前年度を8.8ポイント下回っており、人材獲得競争がより激しさを増していると考えられます。長崎県の未来の担い手である若者の県内定着促進は、重要かつ喫緊の課題であります。

近年は若者が就職を検討する際、働きやすさなどを重視する傾向があり、優秀な人材の確保及び早期離職防止のためには、個々の能力と意欲に応じて活躍できる、働きやすい職場づくりなどを推進することが必要不可欠であると考えております。

例えば「職場の雰囲気や人間関係がよい」「休日、休暇が多い」「給与が高い」などの働きやすさや給与等の待遇に若者は注目しています。若者の働くニーズが多様化している中で、県内の若い方々が「長崎県で働きたい」と感じ、県内で安心して職業生活を送れるようにするには、意欲・能

力を十分に發揮できる、そして、出産や育児等のライフステージにおいて、仕事と生活の調和のとれた多様な働き方を選択できる環境の整備が重要です。

さらに、事業主の皆様が、従業員のスキルアップやリスキリングなどのキャリア形成を支援する「人への投資」に取り組むことで、人材の定着と更なる生産性の向上にも繋がるものと考えています。

来る6月1日から、新規高等学校卒業生向けの求人の受付を開始しますが、事業主の皆様におかれましては、求人を検討される際はこのような点にもご配慮をいただき、「選ばれる長崎県」の実現に向け、若者に魅力ある求人の確保についてご協力をお願いします。

県、労働局など関係機関においては、緊密な連携のもと、若者の県内就職に向け各種支援策を強力に推進しているところでありますので、事業主の皆様におかれましても、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。